

## ○タウンミーティング議事録(概要)

日 時:令和3年9月25日(土)

午後2時から午後3時30分まで

場 所:富南会館 多目的ホール

出席者:16人

### テーマ 第2次富山市総合計画後期基本計画(案)について

#### 【テーマの説明に対する質問】

・辰尾団地について、今から50数年前は、非常に活気のある町内でしたが、現在はほとんど活気のないような状況になっています。何とか活性化できないか、或いはリノベーションできないかと思い勉強会を開いてきましたが3、4年前に富山工業高等学校の生徒たちが、建築設計の甲子園大会で辰尾団地のリノベーションをテーマに優勝されており、こんな素晴らしいチャンスに、我々としては非常に動機付けもされましたし、我々が思っていることと同じようなことを彼らも考えてくれたのだと思っております。

コンパクトシティも悪いわけではありませんが、そのような形になっていくと、郊外が街中から取り残されてしまっているように思います。

この熊野に住んでいる人たちは、非常に心の穏やかな人たちが多く、農業にいそしんでおられる方が多いです。そういう方たちが自分の畑で採れた野菜を皆さんに配ってあげるようなことは日常で、それがこの地域のコミュニティになっており、困っている方に手を差し伸べてあげられるような地域です。そういうところをやはり大事にしていきたいと思っております。

このようなことから、辰尾団地について、小さな拠点として地域のコミュニティの場所になればという思いを持っております。子どもたちの食事に関しては子供食堂もできずし、高齢の多少ハンディキャップを持った方たちでも、そのお手伝いもできるだろうし、

地域の人がそこに手を差し伸べ、その中で一緒に働けるような場所になることが我々のねらいであり、その周りに住んでいる人たちが一緒にそこに参加して生活ができる場所になればという思いで考えました。いずれにしても、市の土地でありますし、果たして何ができるのかということになると非常に難しい話ですが、熊野地区ではこのような考えを持っていることをお伝えいたします。

(市長)

貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

辰尾団地は、私も何回か拝見させていただいており、おっしゃるとおり活気がなくなった状態で今日に至ってしまっていると思っております。かつては活気があったということをお聞きしましたが、辰尾団地も含めて、市営の住宅を今後どうやって生かしていくかにつきましては、市にとっても大変大きな問題でありますので、このように提案をいただきながら、市としても、いろいろな可能性について検討していきたいと思えます。

また、話し合いの場があれば、意見交換などしていけたらと思えますので、今後ともよろしく願いいたします。

・先日、テレビで小中学校の児童、生徒の一足制という、災害が起きた場合にそのまま避難できるようにするために上履きがないという学校が紹介されていました。また、ランドセルが年々高額になってきていることから、立山町が、タブレットが収納できるような軽いリュックを無償提供するという話もありましたが、富山市として今後何か考えていることはあるのかお聞かせください。

また、先ほどの意見と同じく、地域の活性化なのか、集客を目的とした器を作るのか、そのあたりをもう少し吟味していただきたい。地域の活性化であれば、先ほどのまちづくりという話は少し器が大きいのではないかという端的な意見を申し添えておきます。ですので、計画をされるときに、そのあたりを吟味しながら、整備していただければと思

ます。

(市長)

ご質問とご意見ありがとうございます。

タブレットの配布に合わせて立山町がリュックをとということではありますが、ランドセルが年々高価になりすぎていることや、たくさん(ものを)入れるため重くなりすぎて機能性はあるけど機動的ではないのではないかなど、いろいろと意見があることも聞いています。

コミュニティスクール、ここ(熊野地域)であれば興南中学校もそうですが、小学校でもぜひ、地域の方に入っていて、コミュニティスクールというひとつの話し合いの場を設定し、話し合っていて、最終的にはその地域の方との話し合いの中で、校長先生が判断するという形になると思いますので、例えば来年とか、皆さんの意見がそれでいいというのであれば、リュックに変えていくということは、十分地域でも可能であります。防災の観点だとか、機能性の観点だとか、軽さだとかいろいろあると思いますので、また学校で話し合っていていただければと思います。そのための制度としてコミュニティスクールがありますので、ぜひ検討していただきたいと思います。

富山市としては、そのコミュニティスクールでお決めになって上がってくることについては、校則の変更、上履き外履きの件、リュックの件など、すべて地域と地域の学校で話し合っていて決めていただければ結構です。

よほど、学校を改造するとか、グラウンドを改造するとかでない限り、ほとんど大丈夫なようになりますので、ぜひ一度、研究を(していただきますよう)、よろしく申し上げます。

・カラスのことについて、熊野地区に限らず、例えば8号線を走っていてもカラスの数がすごく多いです。ただ飛んでいるだけなので被害がないと思われるかもしれませんが、自然界のバランスがカラスのせいで崩れているというように感じます。人間が出すごみを食べて繁殖しているので、そういった意味では人間のせいでカラスが増えているのかもしれませんが、カラスの個体数が非常に増えていることを何とかしないと、自然界に

とってカラスは大変じゃまものではないかと思います。今すぐ何かをして欲しいというわけではありませんが、どこかの部署で真剣に考えていただけたらと思います。

行政がやる云々というよりも、世界的にあるいは生物の摂理の中での大事なポイントで、カラスを野放しにしてきた人間のごみのせいでカラスの繁殖が増えたことについて何か対策をしていただきたいと思います。

(市長)

カラスのことは大変な問題になっており、富山市でも、約 10 年前からカラスの駆除、捕獲について取り組んでおり、農作物に対する被害の額は減ってきております。まちなかでは城址公園にカラス捕獲の罠を設置するなど捕獲に努めていますが、カラス被害はありますので、引き続き(カラス対策に)鋭意取り組んでまいりたいと思っています。また何か被害等ありましたら教えてください。

※発言の一部を整理して掲載しています(広報課)